

進路便り (中学版)

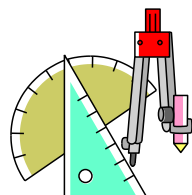


2017年9月25日発行

東明館中学校 進路指導部

2学期が始まってから、約1ヶ月が過ぎましたが、毎日の学校生活をどのように過ごしているでしょうか。夏休み明けで生活のリズムが乱れたままという人はいないと思いますが、「勉学の秋」を充実したものにすることも、次の2つのことを必ず実行できるようにしましょう。もし、実行できていなければ生活のリズムが整っていないということになります。

1. 時間を守る（遅刻をしない・チャイム前着席の励行）
2. 授業を真剣に受ける（居眠りや内職をしない・ノートをしっかりと取る・理解できないことは質問する）



○2学期をどう過ごすか

2学期は、一番期間が長いというだけでなく、学校生活の中で最も大事なポイントになる期間です。というのも、1学期に比べて成績がガクッと落ちる人が毎年何人も出てきます。担任の先生からは「2学期は気を引き締めて！」とされているかもしれません。ではなぜ2学期は「大事な時期」と言われるのでしょうか。2学期が大事な理由の1つは、生活習慣がくずれやすいからです。1学期は新しい学年の最初の学期ですから気持ちを新たに頑張る人も多いと思いますが、その気持ちが2学期になって緩んでしまう人が多いということです。しかし、中には、規則正しい生活習慣を保って勉強を続けているつもりなのに成績が下がってしまう人も多いのが、2学期のもうひとつのポイントです。その原因は、1学期と比べて勉強がグンと難しくなるということにあります。特に中学1年生の1学期の授業は、中学校の「入門編」でしたので努力の量がすぐにテストの点数に反映されたと思います。2学期になると学習内容の難易度が高くなるので、1学期と同じくらいの頑張りでは良い点数は取れなくなります。もちろん、中学2年生や3年生でも同様ですが、特に3年生は高校の学習内容が本格化するので、2学期でつまづいてしまうと、高校に入ってから授業についていくのが難しくなります。

○わからないところを残さない勉強のやり方がカギ

それでは、2学期の勉強にコツはあるのでしょうか。残念ですが、2学期に限らず勉強に特別なコツというものはありません。当たり前を確認にできるかどうかの方が大事です。具体的には、予習をして授業を受けるだけでなく、分からないところやあやふやにしか理解できていないところを残さないことが第一です。そのためには、授業を集中して受け、その日に学習した内容はその日のうちに理解できるような当たり前のことを習慣にして欲しいと思います。また、休み時間や放課後の時間を活用して、学校にいる間に理解できるようにすることも大切ですし、そのためには、積極的に質問をするなど前向きに学習に取り組むことが大切です。

また、家庭学習は「繰り返し」（同じ問題集や教科書の問題でもよいから何度も解いてできないところをなくしていく）ことで学習内容の定着をしてください。自分にとって自由にできる時間は限られています。だから、その限られた時間をどれだけ有効に使えたかが実力の差になると思ってください。そして、「できなかった問題が解けた」「これだけ暗記できた」という達成感や成功体験を積み重ねていくことが大事です。1つできたら、次もその次もきっとできます。自分なりの目標や楽しみを見つけながら勉強するのも学習を継続させるコツです。



○進路・職業選びに必要な能力とは？

人間は生きていく間に、自分の将来を大きく左右すると思われる選択を行わないといけない場面にも出会います。その1つが「進学先・就職先」を決めるということです。例えば「A 大学に進学したけど、B 大学に進学していたらどうだったろう？」とか「就職はX社じゃなくてY社だったら今頃どうなってるかな？」というように人生を大きく変えるだけではなく、「人生は一度きり」という言葉があるようにやり直すことはできません。それでは、「進学先・就職先」を決定するという重要な選択を行うために、どんな能力を身につけておくべきなのでしょう。今回の進路便りでは、「進路・職業選びで必要となる能力」について考えてみたいと思います。

次の表は、国立教育政策研究所生徒指導研究センターが作成した「児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進に関する調査研究」という報告書内にある、進路・職業選択に必要な能力をまとめたものです。この表をもとに、「進路・職業選択」に必要な能力について見ていきます。まず、左端には大きく4つ抽象的に能力領域が示されており、それぞれの領域についての簡単な説明がその右に記載されています。注目して欲しいのは、右端に記載した各領域に分類されている8つの能力についてです。それぞれについて具体的に説明をします。

領域	領域の説明	必要となる能力
人間関係形成能力	他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、さまざまな人間とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む	自分・他人を理解する能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	学ぶこと・働くことの意義や役割及びその多様性を理解し、幅広く情報を活用して、自己の進路や生き方の選択に生かす	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	夢や希望を持って将来の生き方や生活を考え、社会の現実を踏まえながら、前向きに自己の将来を設計する	役割把握・認識能力 計画を実行する能力
意思決定能力	自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する	選択能力 課題解決能力

①「自分・他人を理解する能力」

自己理解を深め、他者の多様な個性を理解し、互いに認め合うことを大切にして行動していく能力

②「コミュニケーション能力」

多様な集団・組織の中で、コミュニケーションや豊かな人間関係を築きながら、自己の成長を果たしていく能力

③「情報収集・探索能力」

進路や職業等に関する様々な情報を収集・探索するとともに、必要な情報を選択・活用し、自己の進路や生き方を考えていく能力

④「職業理解能力」

様々な体験等を通して、学校で学ぶことと社会・職業生活との関連や、今しなければならぬことなどを理解していく能力

⑤「役割把握・認識能力」

生活・仕事上の多様な役割や意義及びその関連等を理解し、自己の果たすべき役割等についての認識を深めていく能力

⑥「計画を実行する能力」

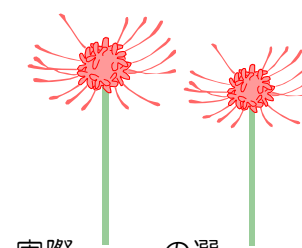
目標とすべき将来の生き方や進路を考え、それを実現するための進路計画を立て、実際に行動等で実行していく能力

⑦「選択能力」

様々な選択肢について比較検討したり、葛藤を克服したりして、主体的に判断し、自らにふさわしい選択・決定を行っていく能力

⑧「課題解決能力」

意思決定に伴う責任を受け入れ、選択結果に適応するとともに、希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む能力



この8つの能力を身につけることが大切ですが、難しく考える必要はありません。学校の授業だけでなく部活動や生徒会活動、中学1年から取り組んでいる卒論などの調べ学習など学校生活のすべてが8つの能力を身につけることにつながっているということを知って欲しいと思います。そして、一番大切なことは「自分を知る」ことです。職業・仕事の名前や中身をよく知っていることや資格・学力なども重要ですが、自分自身の個性・能力・適性を知り、それを受け入れて伸ばそうとする姿勢が何よりも大切なことです。

文責：田代（地歴公民科）